

キリスト教保育

2022年4月1日発行（毎月1回1日発行）第637号

年主題

つながって

～今、わたしを生きる～

礼拝のお話

年間カリキュラム表

特集

つながって

～今、わたしを生きる～

新連載

キリスト教保育Q & A

塩谷直也

粘土あそび

江村和彦



2022 APR.

4

わたしを強くして下さるかたによって何事でもすることができる。

口語訳聖書・ピリピへの手紙4章13

1987年度のキリスト教保育誌の主題は「たくましく生きる」です。「たくましく生きる」ということは、優先すべき目標の一つであると言えます。特に、心のたくましさが先ず求められていると言えます。

「たくましく生きる」と言えば、使徒パウロこそ、その人でした。

幸福とは欲望が満たされることだとすると、私どもは一生かかっても到達できないのではないのでしょうか。人間の欲望は際限なく広がって留まることを知らないからです。幸福とはまさに「足ることを知る」と言えましょう。普通、人間は貧しくなると卑屈になり裕福になると横柄になりやすく、乏しくなると罪を犯す者があらわれ、飽きたりると墮落する者が出る者です。しかし、パウロは、「あらゆる境遇に処する秘訣を心得ている」と申しました。彼は境遇に支配されず、逆に境遇を支配しているのです。このたくましい生き方の秘訣は何でしょうか。「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる」(同4章13)彼は単にあらゆる境遇に足ることを知っただけでなく、何事でもすることができるのです。生けるキリストが共に居て強めて下さるからなのです。

自己の尽くす最善にキリストの力が加わる時、必ず道は開かれると信じて生きることに力強い、たくましい生き方はありません。要するに、乳幼児期より傾いたり、躓いたりしないでいける人間などありえないとすると、問題はその時倒れたままで終わってしまうか、何回でも起き上がるかにかかっています。船の安全性は傾かないことではなく、元にもどる力、即ち復元力にあるのです。たくましく生きるとはこのことを意味しています。過保護と飽食の時代といわれる現代、育ちにくいのがこの「たくましさ」です。

園児に「たくましく生きる」ことを期待するなら、まず私たち保育者自身がたくましく生きる者になりたいものです。「わたしを強くして下さるかた」との交わりを大切に考えていきましょう。

吉井秀夫・執筆 当時・鹿屋キリスト教会牧師 信愛幼稚園園長
1987年「キリスト教保育」誌4月号より

ようこそ キ保誌へ

あなたは生まれ 愛され 育ち 学び

保育者になりました。

さあ、子ども達と共に歩みだす時です。

ためらいや不安が あるかもしれません。

キ保誌を開きましょう。

新しい出会いを 見つけましょう。

目に見えない橋を 見つけましょう。

見えない手を つなぎましょう。

子ども達の未来に向けて

新しい橋を かけましょう。



キリスト教保育

第637号4月号



年主題

つながって

～今、わたしを生きる～

【特集】

つながって～今、わたしを生きる～



幼子とともにキリストへ

ようこそキ保誌へ

目次

〈巻頭言〉 アーメンと自転車 末光真希

〈論説〉 耳にやさしい保育を

目指して 志村洋子

〈小論〉 パペットと子どもたちの

輝く瞳 東海林照子

年主題・年主題年聖句

年主題聖句について 篠田真紀子

年主題について 寺田千栄

年間聖句表 篠田真紀子

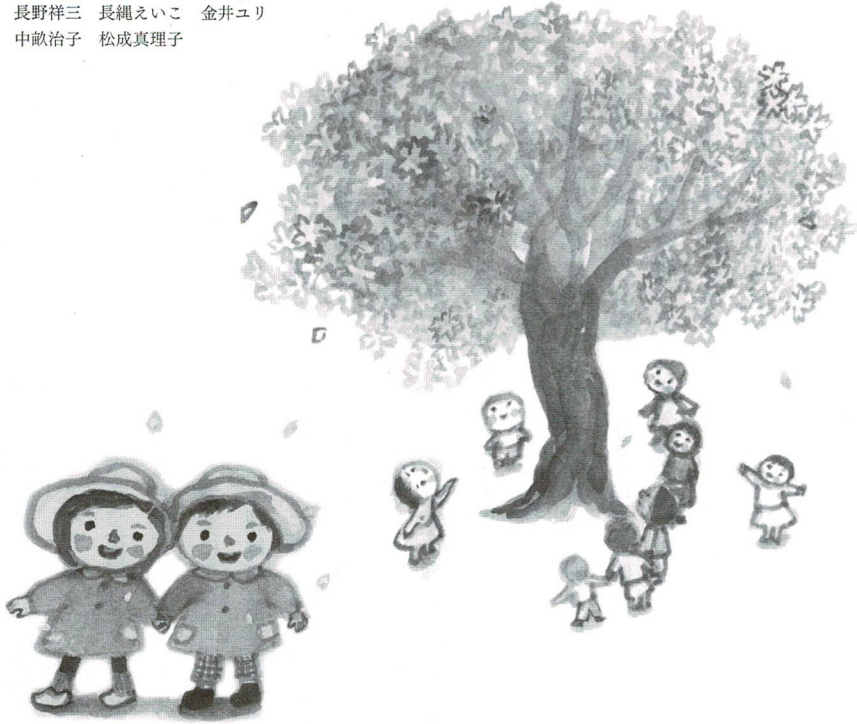
年間カリキュラム表 保育実践研究委員会

21 22 24 27 29



聖書にきく・月聖句のお話 篠田真紀子

表紙絵 田中楨子
カット 長野祥三 長縄えいこ 金井ユリ
中畝治子 松成真理子



【カリキュラム】

4月 月の願い表

心にとめて 富田恵美子

0・1・2歳児 同仁美登里保育園

実践からの学び 海野美代子

心にとめて 永瀬真澄

3・4・5歳児 東北学院幼稚園

実践からの学び 井出孝太郎

図書紹介 草間真理子 牧野恵子

〈新連載〉キリスト教保育Q&A 塩谷直也

〈新連載〉粘土あそび 江村和彦

子どもと賛美するために

目福耳福口福 池田真理

子どもとともにまもる礼拝 星野牧

礼拝のお話カリキュラム表

礼拝のお話 鈴木由香

風 勝本正實 編集子 赤木敏之

2022年キ保誌ご案内

連盟だより